

【記録Ⅰ】

2025年6月11日

保育のねらい：新しい友達や教師と意欲的に関わり、安心して過ごす。
遊びや生活の中で、相手の言葉を聞こうとする。



【保育の振り返り】

進級して2カ月。それぞれのクラスで帰りの集まりを繰り返して、手遊びをしたり、絵本を見たりする経験が積み重なってきた。教師や友達と一緒にその日の遊びを振り返るときには、自分の思いを言葉で表そうとしたり、相手の言葉をよく聞こうとしたりしている。どの子にとっても、クラス集団が安心して思いを出せる居場所になってきた。

【記録2】

2025年9月上旬

保育のねらい：身近な生き物の生態に興味をもって調べたり、世話をしたりすることを楽しむ。



どこの水が一番冷たいかな



水が温かいから冷たい水を入れて冷やさないと



トンボ研究所

【保育の振り返り】

園庭に飛んでいるトンボを捕まえると色や羽、体をじっくりと観察したり、図鑑と捕まえたトンボを照らし合わせて名前や特徴を調べたりしていた。卵をもっているトンボを捕まえたことをきっかけに卵、ヤゴに興味をもち、飼育し始めた。園内で卵の飼育に合う砂や水を探して飼育環境を整えた。飼育日記（分かったことややったこと）を書いたり、トンボになったところを想像して絵を描いたり、成長を楽しみにしながら世話をしていた。

【記録3】

2025年12月上旬

保育のねらい：丁寧に切ったり折ったりして、クリスマスツリーつくりを楽しむ。



黒いところにも、さかさまのサンタが入りそう



黒い線を切る...
赤い線を折る...



あと4人だ

上から、1、2、3って
だんだん増えてるよ

【保育の振り返り】

クリスマスの飾りをつくりながら、形や大きさ、数を意識する機会が多くあった。工作用紙を切ったり折ったりして、立体が出来上がる過程を楽しんでいた。また、折り紙のサンタを並べて貼り付けたときに、数を数えたり同じ形に気付いたりした。また、だんだん増えていく法則にも気付いていた。

【記録4】

2026年1月末～2月3日

保育のねらい：互いの思いを伝え合いながら、遊びや行事を進めようとする。



こどもたち、くるかな…？



【保育の振り返り】

幼稚園の豆まきのために、秘密で鬼の衣装や住処をつかって準備を進めてきた。当日は鬼役の人たちが園庭を走り回って逃げるので、年少児や年中児が「おにはそと！」と豆に見立てた紙玉を投げて楽しむことができた。鬼役は相手に合わせて走ってあげるなど、みんなが楽しめるように自然と配慮する姿もあった。「豆をぶつけられてちょっと痛かったけど、がんばった」と振り返る人もいた。

【記録5】

2026年1月下旬～2月

保育のねらい：富士山見つけや遠足の経験から感じたり考えたりしたことを、かいたりつくったりして楽しむ。



みんな富士山
大好きだ～♪

歌



バスの中からも
富士山が見え
ていたよ。

紙芝居



図鑑



富士山とふじち
びちゃんが劇に
出てくる。



劇

【保育の振り返り】

富士山に親しみをもっている子どもたちは朝霧・富士宮へ遠足に出かけ、園周辺で見てきた富士山との違い（大きさや色）に気付いたり、富士山周辺の気温などを感じたりした。大好きな富士山のことや感じたことを周囲の人に伝えたいという思いをもち、友達と考えを伝え合ったり、相談したりしながらつくったりかいたりすることを楽しんでいた。